


益田市の社協だより

Vol.271
2023年5月号

はぁてい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

益田市社会福祉協議会キャッチフレーズ

「助けてよし、助けられてよし、そして共によし」

● 令和5年度 予算

収入科目	予算額 (単位：千円)
会費収入	14,693
寄附金収入	5,266
経常経費補助金収入	97,929
受託金収入	352,190
貸付事業収入	1,800
事業収入	10,229
負担金収入	272
介護保険事業収入	570,955
保育事業収入	1,903
障害者福祉サービス等事業収入	1,965
受取利息配当金収入	7
その他の収入	13,277
積立資産取崩収入	70,000
拠点区分間繰入金収入	48,190
サービス区分間繰入金収入	44,220
その他の活動による収入	31,050
前期末支払資金残高	136,603
収入合計	1,400,549

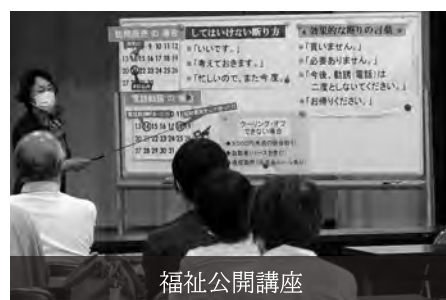
支出科目	予算額 (単位：千円)
人件費支出	740,427
事業費支出	276,127
事務費支出	72,122
貸付事業支出	1,800
共同募金配分金事業費	14,286
助成金支出	15,697
負担金支出	923
その他の支出	0
固定資産取得支出	300
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,698
基金積立資産支出	370
積立資産支出	70,000
拠点区分間繰入金支出	48,190
サービス区分間繰入金支出	44,220
その他の活動による支出	25,340
予備費支出	400
当期末支払資産残高	83,649
支出合計	1,400,549



第40回 益田市社会福祉大会



ふれあい・いきいきサロン研修会



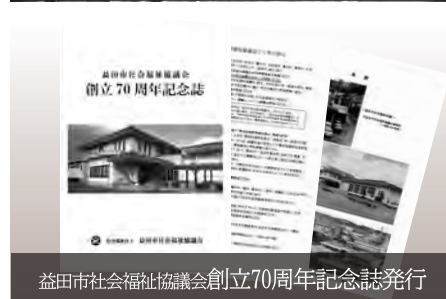
福祉公開講座



美都配食サービス



匹見保育所おでかけ散歩



益田市社会福祉協議会創立70周年記念誌発行

令和5年度 事業計画・予算

● 基本方針

令和2年初頭から続く新型コロナウイルス感染拡大という災禍は、働き方やコミュニケーションの形を変容させただけでなく、地域福祉の形やあり方をも転換させました。コロナ禍は、経済的打撃によって生活困窮に陥る人を生み出すとともに、人や地域とのつながりを絶ち社会的孤立に陥る人を増大させました。

令和5年度は、昨年度に策定した「第4期益田市地域福祉活動計画」の初年度にあたり、本計画の目標達成に向けて好スタートを切ることが重要です。本会キャッチフレーズ『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』のもと、社会福祉協議会の使命である、誰もが支え合いながら安心して暮らすことのできる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを目指して、本会の持つ総合力とネットワーク力を活かしながら、各事業の更なる推進と適正な管理運営に取り組んでいきます。とりわけ5年度は、①組織改編による体制強化、②情報発信力の強化、③嘱託職員の給与体系改定による処遇改善の3点を最重点に取り組みます。

● 重点項目・主な実施事業

(1) 第4期益田市地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進

- 第4期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進及び進捗管理
- 益田市生活支援体制整備事業の推進〔市受託事業〕
- ふれあいのまちづくり事業
- 地域福祉活動助成事業
- 地区社会福祉協議会との連携強化と活動支援
- 関係福祉団体との連携強化と活動支援
- 福祉バス運行事業
- ふれあい・いきいきサロン研修会の開催
- ふれあい・いきいきサロン事業
- ふれあい・子育てサロン事業
- 食を通じた地域の居場所づくりの推進
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
- 広報運営委員会再編等による広報部門の充実強化
- 新たな情報発信ツールの活用検討等
- 学校・地域における福祉教育の推進
- 益田市ボランティアセンターの運営
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
- 共同募金配分金事業の実施
- 島根県共同募金会益田市募金委員会の運営と共同募金運動の推進
- 日本赤十字社島根県支部益田市地区の運営と事業推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- 益田市社会福祉大会の開催
- 友愛メール事業による見守り活動（美都）
- 美寿苑高齢者サロン「暖暖茶の間」の開設（美都）
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業
- 「らくらくサロン」の開設（匹見）
- もみじの里地域交流ホールでの「もみじサロン」の開設（匹見）

(2) 生活困窮者支援の強化と総合的な権利擁護支援体制の推進

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の構築
- ふれあい福祉相談事業
- 生活困窮者自立支援事業〔市受託事業〕
- 生活福祉資金貸付事業〔県社協受託事業〕
- 無利子生活資金貸付事業（民生融金）
- 入居債務保証支援事業
- フードバンク事業
- 日常生活自立支援事業〔県社協受託事業〕
- 法人後見事業
- 市民後見推進事業〔市受託事業〕

(3) 指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理経営

- 指定管理事業
益田市総合福祉センター、益田市立匹見保育所、美都・匹見地域高齢者福祉施設の管理経営
- 在宅・施設福祉サービス事業

(4) 社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の運営
- 「ふくし なんでも 窓口」事業の機能充実
- 緊急事態に備えた会員法人間の支え合い助け合いシステムの構築

(5) 本会の総合力向上と更なる発展に向けた経営基盤の強化

- ① 組織統治体制の確立と機能強化
- ② 持続可能な安定した財源確保と健全な財政運営
- 組織改編による組織体制の強化
…「生活支援部」の設置
- ③ 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 役員改選に係る対応
- 嘱託職員給与体系の改定による処遇改善

令和5年度 益田市総合福祉センター講座のご案内

総合福祉センターでは、明るく豊かな日々を過ごしてもらうため、下記の講座を開催いたします。是非ご参加ください。受講対象者は、60歳以上及び母子・寡婦・父子の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室 (寄せ植え)	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期間	5月12日~3月8日	6月13日~11月14日	5月18日~3月21日	5月13日~3月9日	5月19日~3月15日	5月19日~3月1日
期日	毎月第2金曜日	毎月第24木曜日	毎月第3木曜日	毎月第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月第3金曜日	毎月第1金曜日 (初回第3金曜日)
時間	13:30~15:30	9:30~11:30	13:30~15:30	10:00~12:00	13:30~15:30	9:30~10:30
回数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講師	永戸 守	田原 俊平	梅津 政子	中田 登志枝	渡辺 恭典	美原 愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無料	無料	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料
内容 その他	・初心者の方大歓迎 ・毎月第4金曜日は 自主的に実施 ・ハイヒール等の靴 は使用禁止です	・初心者の方大歓迎	・習字用具は各自 でご持参ください	・初心者の方大歓迎 ・編み棒、かぎ針は 各自でご持参くだ さい	・材料代等は各自で ご負担してください	・膝、腰、股関節等 痛みのある方、足 に自信のない方 大歓迎 ・運動のできる服装で ご参加ください
開催 日程 (予定)	5/12・6/9・7/14・ 8/11・9/8・10/13・ 11/10・12/8・1/12 2/9・3/8	6/13・6/27・7/11・ 7/25・8/8・8/22・ 9/12・9/26・10/10・ 10/24・11/14	5/18・6/15・7/20・ 8/17・9/21・10/19・ 11/16・12/21・ 1/18・2/15・3/21	5/13・6/10・7/8・ 8/5・9/9・10/14・ 11/11・12/9・1/13 2/10・3/9	5/19・6/16・7/21・ 8/18・9/15・10/20 11/17・12/15・ 1/19・2/16・3/15	5/19・6/2・7/7・ 8/4・9/1・10/6・ 11/3・12/1・1/5・ 2/2・3/1
会場	大集会室	研修室	大集会室	会議室B	ふれあい広場	大集会室
益田市総合福祉センター						

- ※ 期日や会場は、変更する場合があります。
- ※ 申し込みは、令和5年5月8日(月)より電話でのみ受付をしますので、総合福祉センター(TEL 22-7256・23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切らせていただきます。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせください。令和5年5月7日以前の受付、及び土・日曜日の受付は行いませんのでご了承ください。
- ※ 当講座内での物品の販売、及びセンター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めていただく場合がありますのでご了承ください。

赤い羽根共同募金へのご協力をありがとうございました!

(令和5年3月20日現在 敬称略・順不同)

益田地区社会福祉協議会
吉田小学校

美濃地区社会福祉協議会
安田小学校

中西地区民生児童委員協議会

赤い羽根自販機設置にご協力いただいています

- ・キヌヤ(ショッピングセンター・東町店・久城店・遠田店・西益田店・緑ヶ丘店・中吉田店)
- ・七尾福祉会 益田市立高齢者福祉センター 七尾苑
- ・梅寿会 特別養護老人ホーム「ますだ」ハイソ
障がい者支援施設 ラポール宝生苑
特別養護老人ホーム くしろ宝寿苑
- ・西益田福祉会 デイサービス清流苑
認定こども園 神田保育園
- ・(株)技研設備
- ・益田市総合福祉センター(益田市老人クラブ連合会)

赤い羽根自販機を
みかけたら
ぜひご利用くださいね♪



益田市社協

あんしん生活支援センター

「困った…」を誰にも
相談できない方へ



益田市社協
あんしん生活支援センター
へご相談ください！

お問い合わせ・ご予約

フリーダイヤル:0120-062-301 (月~金 8:30~17:30)
TEL:22-7256/FAX:23-4177 〒698-0036 益田市須子町3-1
(益田市総合福祉センター内)

令和5年度 市民後見人養成講座開講!!

地域の中で困っている人を支える活動を一緒にしませんか？

なにか地域の役に立つことは
できないかな？

近所のひとり暮らしのおばあちゃん、
困ったときには力になりたい！



詳細は後日はあ~ていや社協ホームページにてお知らせします！

そのままにしている心配ごとはありませんか？

公証人による 無料法律相談会

相談担当: 浜田公証役場 瀧本 剛 公証人

公証役場は国の機関です。秘密は厳守されます。

日時

6月2日(金)

10時00分~16時00分

場所

益田市総合福祉センター
(益田市須子町3-1)

要予約

益田市社協 あんしん生活支援センターの相談日

どんなことでも、
まずはお相談ください。
いっしょに考え、解決への
お手伝いをいたします。



無料法律相談

時間:13時~15時

5月12日(金)/6月9日(金)/7月14日(金)

羽柴貴宏弁護士 谷川円弁護士 田中秀樹弁護士
※都合により変更になる場合もあります

ふれあい福祉相談

時間:10時~15時

5月12日(金)/6月9日(金)/7月14日(金)

老人・ひとり親相談

時間:10時~15時

5月12日・26日(金)/6月9日・23日(金)/
7月14日・28日(金)

第4期益田市地域福祉活動計画について

基本理念「みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり」

令和5年3月、第4期益田市地域福祉活動計画（計画期間：令和5～9年度）を策定しました。

住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」の実現に向け、益田市社会福祉協議会のキャッチフレーズ「助けてよし、助けられてよし、そして共によし」を掲げ、社協の持つ社会福祉の総合力とネットワークを活かして計画を推進していきますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. 計画の目的

「地域福祉」は一人ひとりが尊厳をもって、幸せに暮らせるように人権尊重を基本に、地域で暮らすすべての人が進めていくまちづくりの取り組みです。社会環境が変化する中で、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、だれもが安心して自立した日常生活を送ることができる環境づくりを目指します。

2. 計画の基本目標・重点取り組み

基本理念の実現を目指し、社会福祉協議会が市や地域住民、福祉推進組織等と連携して地域福祉を推進していくために、以下の基本目標及び取り組みに沿って具体的な施策の展開を図ります。

基本目標Ⅰ 支え合えるひとづくり

- 1.福祉教育の推進 2.地域を担う人材の育成と確保

基本目標Ⅱ 支え合える地域づくり

- 1.地域コミュニティの形成 2.事業者の福祉活動推進

基本目標Ⅲ より良い生活のための福祉サービスの充実

- 1.子育て支援の充実 2.障がいのある人が安心して暮らせる社会の実現
3.高齢者が安心して暮らせる社会の実現 4.健康づくりと介護予防の推進
5.生活に困窮している人への生活支援の充実 6.自死に追い込まれることのない社会の実現 7.成年後見の取り組みの充実

基本目標Ⅳ 安心して住み続けられる環境づくり

- 1.安全・安心の防災・防犯の体制づくり 2.移動手段の確保 3.再犯防止施策の充実

基本目標Ⅴ 包括的な支援体制づくり

- 1.相談を包括的に受け止める仕組みづくり

（1）学校・地域での福祉教育の推進

全ての人が地域社会の中で偏見や差別を受けず、お互いに支え、助けあい、心豊かに安心して日常生活が送れる社会環境をつくるため、地域住民一人ひとりの人権尊重の意識醸成を目的とした福祉教育を推進します。

（2）地区圏域での支え合い活動の推進

地域で困りごとを抱えている人が一人も取り残されず、地域で支えられ、必要に応じて専門機関に繋がる体制を構築するため、地区社協や地域住民、地域づくり関係者と連携し活動を支援していきます。

（3）権利擁護の推進による生活の充実

近年の人口減少、高齢化、単身世帯の増加等を背景として、地域社会から孤立している方や頼れる身内が近くにおられない方などを、社協の事業を活かして、誰もが支え合いながら安心して暮らせる体制づくりに取り組みます。

（4）広報・啓発活動の充実

福祉を身近に感じ、考えてもらうため、様々な福祉に関する情報を提供する手段として広報・啓発活動を充実させていきます。幅広い世代に情報が届けられるよう、新たな情報発信ツールの活用も検討し活動の拡充に取り組みます。

重点
取組

3. 益田市と連携し「第4期益田市地域福祉計画」と一体的に策定

益田市地域福祉活動計画と益田市が策定する益田市地域福祉計画は、連携・協働の関係にあり、それぞれの役割を明確にしたうえで、相互に補完しあいながら計画を一体的に推進し地域福祉向上を目指すものであり、住民主体の取り組みを推進するものです。地域福祉に関する活動等を積極的に推進するため、益田市と連携し「第4期益田市地域福祉計画」と一体的に策定しました。

安田 健康マージャンで頭脳と心をリフレッシュ！！



他団体と交流することも。女性の方の参加也大歓迎です！

安田公民館では、新たにマージャンサークルが立ち上がり、月2回ほど活動しています。興味はあるけれど、マージャンをしたことがない人でも大丈夫！一度も牌を触ったことすらない社協のSCも公民館長さんや地域の人に教えてもらいながら楽しく参加できました。

安田公民館ではその他にも様々な教室や百歳体操なども開催しています。内容については公民館だよりや安田公民館のInstagramなどをこまめにチェックしてみてくださいね！

(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)

公民館を
とことん
楽しもう！

種 桜吹雪と子ども神楽

4月2日(日)種の川下桜公園で3年ぶりとなる『種ふるさとまつり』が開催されました。

桜吹雪が舞い散る中、種神楽や子ども神楽が上演され、訪れた人たちはたくさんの山菜の天ぷらや豚汁、ヤマメの塩焼き等を頬張りながら桜と神楽の共演を楽しんでいました。

今、各地域ではコロナで中止されていた様々な活動が再開されています。皆さんも色々な地区にお出かけして、それぞれ違う地域の魅力を楽しんでみませんか？



(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)

善意の輪

(令和5年1月1日～令和5年2月28日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】			【香典返し】			【香典返し】		
山根 健治	山折町	金一封	山本 仁志	遠田町	金一封	(故) 大谷 博	見町 笹山	金一封
(故) 澁谷トメコ	虫追町	金一封	(故) 田中 一枝	幸 町	金一封	【見舞返し】		
石田 益子	須子町	金一封	齋藤 眸	高津五丁目	金一封			
(故) 田原 正居	赤城町	金一封	(故) 吉田 妙	中吉田町	金一封	【一般寄付福祉事業へ】		
都野守政人	飯田町	金一封	(故) 潮 マサ子	美都町 宇津川	金一封			
斉藤 輝	有明町	金一封	(故) 寺戸美枝子	美都町 都茂	金一封			

東仙道 ベンチで楽しむおしゃべり時間



この度、益田市共同募金委員会より助成を受け、令和4年度事業として東仙道地区にベンチを設置しました。これは、東仙道公民館の野村館長より、「散歩の途中に休む場所があるといいんだけど」という地域の声があることをうかがい、社協美都支所が共同募金委員会に助成申請を行って実現したものです。

購入したベンチは、東仙道公民館の入口に設置されました。公民館には日々たくさんの住民さんが訪れます。ちょっとした休憩に、また、みなさんの情報交換の場として、今後たくさんご活用いただけたら嬉しく思います。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)

匹見 つらうて話しましょう



3月18日(土)石谷老人福祉センターにて『小さな集いづくり 内谷 ミーティング』を開催しました。内谷地区の5名の皆さんが集い、社協匹見支所職員も参加して、お茶を飲みながら談笑し、ペットボトルのフタなど身近なものを利用したゲームで楽しいひとときを共にしました。

参加者の皆さんにとって通い慣れた会場でリラックスした雰囲気の中、こんにゃく芋の栽培が猪避けになるという話や、杉の植林とワサビ畑の関係など、今まで聞いたことのなかった地域の話に、あっという間に時間が過ぎました。

今回の『ミーティング』は、匹見圏域生活支援体制整備事業のひとつ、「小さな集いづくり」の初めての試みでした。匹見地域では他の地区でも同様の集いを開催していく予定です。

(匹見圏域生活支援サポーター：柴田)

〈表紙〉
北仙道の
春を歩く

3月18日(土)「北仙道地区健康を守る会」のふれあいウォーキングが開催されました。この日は少し肌寒いものの、前日まで降っていた雨も止んで、北仙道公民館の辺り3キロを皆で楽しくお喋りしながら歩きました。この日、桜の花はまだ咲いていませんでしたが、枝の先が赤く色づき、春の訪れを皆さんが喜んでいました。

(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)

